

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	Java I	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	7 単位
学 年	1年次		時間数	150 時間
開講学期	前 期		授業形態	演 習
履修区分	必 修		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	今日の社会では、様々なところでプログラムが使われています。身近なところでは、スマートフォンやインターネット、自動車を動かすいろいろな制御分野などです。 この科目では、Javaというプログラミング言語を学習します。Javaプログラマの需要は多く、幅広い分野で使われているプログラミング言語です。			
到達目標	Javaの基本構文を理解し、フローチャートを組み立ててプログラムできるようになる。			
教科書・教材	スッキリわかるJava入門／インプレス			
授業計画	回	内 容		
	1	Java環境設定／Javaとは／Java基本構文		
	2	変数・定数／四則演算子／アルゴリズムとフローチャート		
	3	流れ制御構文～条件分岐～		
	4	流れ制御構文～条件分岐～		
	5	流れ制御構文～繰り返し～		
	6	流れ制御構文～繰り返し～		
	7	配列について		
	8	メソッドについて／引数と戻り値		
	9	メソッドについて／引数と戻り値／オリジナルプログラム作成演習		
	10	オリジナルプログラム作成演習		
	11	オリジナルプログラム作成演習／評価		
	12	JavaAPIについて／パッケージとクラス		
	13	オブジェクト指向について		
	14	クラス図／クラス／部品化		
	15	インスタンス化		
授業の進め方・履修の心構え	教科書やスライドをもとに解説をし、適宜パソコンを使用して演習を行います。 成果物については必要に応じて提出してもらいます。			
目標資格	Javaプログラミング能力認定試験 3 級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80％以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	HTML演習Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	1年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	Webサイト制作者やデザイナーにとって必須の言語であるHTML、XHTMLについて学習します。Webページ作りの基本知識から簡単な応用テクニックまで、ステップバイステップで学びます。さらに、Webの「見た目」を定義するCSSについての基本文法を学びます。			
到達目標	HTMLとCSSの基本を理解し、WEBページを作成することができる。 Webクリエイター試験のスタンダード合格			
教科書・教材	1冊ですべて身につくHTML＆CSSとWebデザイン入門講座[第2版]／SBクリエイティブ(株) 教科書範囲：14～151ページ　その他：Webクリエイター試験のサンプルテキスト（CD付）			
授業計画	回	内 容		
	1	HTMLとは／環境設定・基本の書き方・見出し・文章		
	2	HTMLのタグについて／画像・リンク・リスト		
	3	HTMLのタグについて／表		
	4	HTMLのタグについて／フォーム		
	5	HTMLのタグについて／ブロック要素		
	6	オリジナルページ作成		
	7	CSSとは／基本の書き方・文字の装飾		
	8	CSSについて／配色・背景・コンテンツ幅		
	9	CSSについて／余白・線・各種セレクト		
	10	オリジナルページ作成		
	11	WEBクリエイター試験対策（サンプル問題デモ）		
	12	WEBクリエイター試験対策		
	13	WEBクリエイター試験対策		
	14	WEBクリエイター試験対策		
	15	WEBクリエイター試験対策		
授業の進め方・履修の心構え	基本的に教科書通り進めていきますが、適時課題を用意し、理解を深めることができるようにします。教科書の内容をただそのまま入力するのではなく、入力したものがどのように動いているかをきちんと考え理解する必要があります。			
目標資格	Webクリエイター能力認定試験スタンダード			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	－
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	（１）課題の提出状況および完成度 （２）出席率80％以上および授業の積極性による評価 （３）検定試験の結果による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	一般教養	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	2 単位
学 年	1年次		時 間 数	30 時間
開講学期	前 期		授業形態	演 習
履修区分	必 修		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	本科目は高校までに習う国語、数学、英語などの一般教養を復習します。これらの知識はITを学ぶ上で必要なだけではなく、社会人の基本スキルとして求められるため、今のうちに身につけておきましょう。			
到達目標	高校までに習う国語、数学、英語などの基本的な知識を身につける			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	学力検査		
	2	数学Ⅰ：集合		
	3	数学Ⅰ：論理		
	4	数学Ⅰ：分散と相関		
	5	数学A：場合の数と確率		
	6	数学Ⅱ：指数・対数		
	7	数学B：数列		
	8	数学B：正規分布		
	9	数学小テスト		
	10	国語：漢字		
	11	国語：長文読解		
	12	国語小テスト		
	13	英語：IT用語でよく使われる英単語		
	14	英語：プログラミングでよく使われる英単語		
	15	英語小テスト		
授業の進め方・履修の心構え	講義のあとに練習問題を解き、授業で習った知識の理解を促進します。 本科目で習う知識は社会人として必ず求められる知識のため、しっかりと復習を行い、身につけていくことが大切です。			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	情報基礎対策	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	1年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本科目はコンピュータの基礎知識の中でも、2進数等の基数変換、浮動小数点数の考え方、演算処理などについて学習します。扱う内容は基本情報技術者試験の出題範囲及びスキル標準に則したものです。			
到達目標	基本情報技術者試験科目A試験合格レベル			
教科書・教材	ITワールド／(株)インフォテック・サーブ IT戦略とマネジメント／(株)インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	基本情報技術者試験について、イントロダクション		
	2	コンピュータの基本構成		
	3	コンピュータのデータ表現		
	4	基数と基数変換		
	5	基数計算の方法①		
	6	基数計算の方法②		
	7	小テスト		
	8	負数(符号付絶対値表現、補数表現)		
	9	浮動小数点数(符号部・指数部・仮数部、正規化)		
	10	誤差／シフト演算		
	11	小テスト		
	12	修了試験練習問題①		
	13	修了試験練習問題②		
	14	修了試験練習問題③		
	15	修了試験練習問題④		
授業の進め方・履修の心構え	各回後半に授業の復習問題を解きます。国家資格にむけた基礎的な知識を学ぶ科目のため、しっかり復習を行い、身に付けていくことが大切です。			
目標資格	基本情報技術者試験 基本情報技術者試験 修了認定に係る試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	ビジネスマナー	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	2 単位	
学 年	1年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	ビジネスマナーの基本を身につけて、時間的にも心にも余裕をもって就職活動を行うことを目的とします。			
到達目標	1. 自信をもって就職活動を行える。 2. 就職活動の手順を理解できる。			
教科書・教材	改訂新版 入社1年目ビジネスマナーの教科書／プレジデント社オリジナル			
授業計画	回	内 容		
	1	ガイダンス、第1章 身だしなみの基本		
	2	第2章 コミュニケーションの基本		
	3	第6章 敬語の基本		
	4	第7章 報告・連絡・相談の基本		
	5	第3章 話し方・聞き方		
	6	第10章 ビジネス文書の基本		
	7	実践練習1 ビジネス文書の手書き対応		
	8	第11章 ビジネスメールの基本		
	9	第5章 電話応対		
	10	第9章 訪問の基本		
	11	実践練習2 メールから応募書類の送付まで		
	12	実践練習2 メールから応募書類の送付まで		
	13	実践練習3 アポイントメントから会社訪問まで		
	14	実践練習4 就職試験		
	15	総まとめ		
授業の進め方・履修の心構え	毎週、授業開始10～15分程度で、前週に学んだことの振り返りとして小テストを行います。 講義とテストを通してマナーを身に着けることが重要です。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 課題の提出状況、小テスト (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	Excel演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	1年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	Excelの基本操作から始め、表計算、グラフ作成、データ抽出機能について、順次学習していきます。システム開発の一連の作業の中ではExcelを駆使してドキュメントを作成するシーンが多くあります。このソフトウェアを使えるということだけではなく、自身の考えを相手に伝えるための思考力や表現力が必要となります。さらに、もう一つの目標である認定試験合格のためのテクニックを学習していきます。			
到達目標	Excelの基礎から応用まで幅広く知識を身に付け、表計算処理技能認定試験に合格する。			
教科書・教材	30時間でマスターExcel2021／実教出版 2021対応Excel表計算処理技能認定試験 1・2 級問題集／サーティファイ			
授業計画	回	内 容		
	1	表計算の基礎		
	2	関数の説明と練習・復習		
	3	関数の説明と練習・復習		
	4	関数の説明と練習・復習		
	5	グラフの作成と編集		
	6	データベース機能		
	7	条件付き書式		
	8	ピボットテーブルとピボットグラフ		
	9	マクロ		
	10	3D集計と統合		
	11	検定試験対策 1（知識・実技問題の実施及び解説）		
	12	検定試験対策 2（知識・実技問題の実施及び解説）		
	13	検定試験対策 3（知識・実技問題の実施及び解説）		
	14	検定試験対策 4（知識・実技問題の実施及び解説）		
	15	検定試験対策 5（知識・実技問題の実施及び解説）		
授業の進め方・履修の心構え	教科書に沿って学習します。適宜補助プリントも使用します。 課題は必ず提出してください。			
目標資格	Excel表計算処理技能認定試験 2 級以上			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	－
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	（１）課題の提出状況および完成度 （２）出席率80％以上および授業の積極性による評価 （３）検定試験の結果による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	アルゴリズムⅠ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	2単位
学 年	1年次		時間数	30時間
開講学期	前期		授業形態	講義
履修区分	選択		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	プログラミングはある問題を解決するための手段の一つに過ぎません。そのため、プログラミングは「ある問題を解決するための手順や方法(アルゴリズム)」がわからなければ行うことができません。本講座では、アルゴリズムを学習していきます。			
到達目標	アルゴリズムを理解し、フローチャートなどを用いて言語化できるようにする。			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	アルゴリズムとは、フローチャートについて		
	2	変数および代入について学ぶ		
	3	変数および代入についての復習／条件分岐について学ぶ		
	4	条件分岐について復習する		
	5	繰り返しについて学ぶ		
	6	繰り返しについて復習する		
	7	配列について学ぶ		
	8	配列について復習する		
	9	定義済み処理(メソッド)について学ぶ		
	10	定義済み処理(メソッド)について復習する		
	11	提出課題1		
	12	提出課題1		
	13	提出課題2		
	14	提出課題2		
	15	提出課題2		
授業の進め方・履修の心構え	本科目で学習する内容は、プログラミング言語を理解するために非常に重要です。Javaなどの他のプログラミング科目で学習する処理の流れと結び付けて考えるように心がけましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	経営戦略・管理	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	1年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	コンピュータを活用し、企業経営に役立てるための分析手法や企業経営の基本的な内容に関して学習します。			
到達目標	基本情報技術者試験の午前および午後で出題されるマネジメント分野の問題を理解することです。扱う内容は基本情報技術者試験の出題範囲及びスキル標準に則したものです。			
教科書・教材	IT戦略とマネジメント／(株)インフォテック・サーブ IT戦略とマネジメントサブノート／(株)インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	企業活動の目的／企業の組織体系①<企業形態／企業の階層構造>		
	2	企業の組織体系②<経営組織>／経営管理/第1部－小まとめ【単元テスト】		
	3	財務会計①<決算の仕組み／財務諸表(貸借対照表)>		
	4	財務会計②<財務諸表(損益計算書)／その他の財務諸表>		
	5	管理会計/第1部－小まとめ【単元テスト】		
	6	応用数学⑤<待ち行列理論／グラフ理論>OR①<線形計画法／日程計画>		
	7	OR②<在庫問題／需要予測／ゲーム理論／最適化問題>		
	8	IE(経営工学)／QC(品質管理)手法		
	9	業務分析／第1部－小まとめ【単元テスト】		
	10	法務と標準化①		
	11	法務と標準化②		
	12	法務と標準化③		
	13	法務と標準化④／第1部－小まとめ【単元テスト】		
	14	第1部－小まとめ【単元テスト】		
	15	第1部の総まとめ【第1部確認テスト】		
授業の進め方・履修の心構え	教科書を進めていきますが、過去の基本情報技術者試験午前問題で出題された問題を解きながらや就職後の仕事や日常に関わる情報を踏まえて学習していきます。 授業の後半に基本情報技術者試験科目Aの過去問を解いていきます。			
目標資格	修了認定に係る試験(基本情報技術者試験 科目A免除) 基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 小テスト (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	セキュリティ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学 年	1年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	個人情報をはじめ、様々な機密情報がコンピュータで扱われています。インターネットの普及に伴い、コンピュータは世界中とつながるようになりました。便利になる一方、技術を悪用しようと考え、実行する人も多数現れています。本科目では情報セキュリティの「脅威」とその「対策方法」について学びます。扱う内容は基本情報技術者試験の出題範囲及びスキル標準に則したものです。			
到達目標	情報セキュリティ分野の基本的な考え方を理解する。 情報セキュリティの脅威と、対策方法について理解する。 基本情報技術者試験で出題されるセキュリティ分野の問題を理解する。			
教科書・教材	ITワールド／(株)インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	情報セキュリティの概念		
	2	情報セキュリティの管理対象		
	3	マルウェア		
	4	攻撃手法		
	5	単元テスト		
	6	暗号化技術		
	7	認証技術／PKI		
	8	情報セキュリティマネジメント		
	9	リスクマネジメント		
	10	単元テスト		
	11	情報セキュリティ機関・評価基準		
	12	物理的・人的・技術的セキュリティ対策		
	13	セキュリティ実装技術①		
	14	セキュリティ実装技術②		
15	単元テスト			
授業の進め方・履修の心構え	教科書やスライドをもとに解説を行い、各回の最後に確認テストを実施します。 専門用語が多いので、授業以外でもしっかり復習しましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	ソフトウェア	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学 年	1年次	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	ソフトウェアの仕組みとシステム開発の手法を学ぶ科目です。コンピュータはオペレーティング・システム（略してOSという）が無ければただの箱です。ソフトウェアの基礎知識（OSの役割や機能）と、ソフトウェアを作成（設計）する手法について学習していきます。基本情報技術者試験の科目Aで出題されるソフトウェア分野の問題を理解することです。扱う内容は基本情報技術者試験の出題範囲及びスキル標準に則したものです。			
到達目標	基本情報技術者試験 科目A合格レベル			
教科書・教材	ITワールド／(株)インフォテック・サーブ ITワールドサブノート／(株)インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	ソフトウェアの体系による分類		
	2	OSの機能と構成／OSの管理機能①<ジョブ管理>		
	3	OSの管理機能②<タスク管理>		
	4	OSの管理機能③<記憶管理(実記憶管理)>		
	5	OSの管理機能④<記憶管理(仮想記憶管理)>		
	6	OSの管理機能⑤<その他の管理機能>		
	7	第3部－小まとめ【単元テスト3－1】		
	8	プログラム言語の分類		
	9	言語プロセッサ①<言語プロセッサの種類>		
	10	言語プロセッサ②<サービスプログラム>／プログラムの属性		
	11	第3部－小まとめ【単元テスト3－2】		
	12	ファイルとレコード／ファイルのアクセス方式		
	13	ファイル編成方式		
	14	小型コンピュータのファイル管理／バックアップ【単元テスト3－3】		
15	第3部の総まとめ【第3部 確認テスト】			
授業の進め方・履修の心構え	教科書をベースに学習し、過去の基本情報技術者試験科目A問題で出題された問題を解き学習した内容を復習していきます。 わからない点はそのまま放置せず、積極的に質問したり調べたりしましょう。			
目標資格	修了認定に係る試験(基本情報技術者試験 午前免除) 基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 小テスト (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	データベース	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	2単位
学 年	1年次		時間数	30時間
開講学期	前期		授業形態	講義
履修区分	選択		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	コンピュータには大量の情報が格納されます。情報をきれいに整理し、取り出しやすくなったものがデータベースです。リレーショナルデータベース(RDB)とは、データベースの形式の1つですが、世の中の多くのシステムは、プログラムとRDBとネットワークを組み合わせて構成されています。			
到達目標	データベースの基本を理解し、基本情報技術者試験の科目Aで出題されるデータベース分野の問題を解けるようになることです。			
教科書・教材	ITワールド／(株)インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	データベースとファイルの違い		
	2	色々なデータベース		
	3	AIに関する技術		
	4	データモデル・関係モデル		
	5	データベースの設計		
	6	小テスト		
	7	DBMSの定義機能と操作機能および保全機能		
	8	DBMSの機密保護機能		
	9	DBMSの障害回復機能		
	10	小テスト		
	11	PostgreSQLのインストール		
	12	SQLの基本文法とデータ型		
	13	SELECT・INSERT文		
	14	UPDATE・DELETE文		
	15	小テスト		
授業の進め方・履修の心構え	教科書をベースに学習し、過去の基本情報技術者試験科目A問題で出題された問題を解き学習した内容を復習していきます。 わからない点はそのまま放置せず、積極的に質問したり調べたりしましょう。			
目標資格	修了認定に係る試験(基本情報技術者試験 科目A免除) 基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト・課題提出 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	ネットワーク	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	2単位
学 年	1年次		時間数	30時間
開講学期	前 期		授業形態	講 義
履修区分	選 択		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	現在はインターネットが普及し、コンピュータネットワークが一般的になっています。自宅のパソコンから銀行の大型コンピュータまでもが、ネットワークでつながっています。この科目では、ネットワークの構造と用語を学習します。			
到達目標	ネットワークの基本を理解し、基本情報技術者試験の科目Aで出題されるネットワーク分野の問題を解けるようになることです。			
教科書・教材	ITワールド／(株)インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	インターネットの接続方法		
	2	インターネットの基本構成、インターネットサービス		
	3	小テスト		
	4	ネットワークアーキテクチャ		
	5	インターネットの標準プロトコル(アプリケーション層・トランスポート層)		
	6	インターネットの標準プロトコル(インターネット層・データリンク層)		
	7	小テスト		
	8	LANの基礎技術		
	9	LAN間の接続装置		
	10	その他のLAN技術		
	11	小テスト		
	12	ネットワークの基礎技術		
	13	伝送制御手順・IoT関連技術		
	14	ネットワーク管理		
	15	小テスト		
授業の進め方・履修の心構え	教科書をベースに学習し、過去の基本情報技術者試験科目A問題で出題された問題を解き学習した内容を復習していきます。 わからない点はそのまま放置せず、積極的に質問したり調べたりしましょう。			
目標資格	修了認定に係る試験(基本情報技術者試験 科目A免除) 基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	ハードウェア	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学 年	1年次	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	コンピュータ本体の動作原理や内部構造、CPUやメモリなどの構造や仕組み、入力装置や出力装置などの周辺機器に関する構造や種類など、コンピュータを構成する基本的な装置に関して学習します。扱う内容は基本情報技術者試験の出題範囲及びスキル標準に則したものです。			
到達目標	基本情報技術者試験科目A合格レベル			
教科書・教材	ITワールド／(株)インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	コンピューターの基本構成／データ表現		
	2	中央処理装置／主記憶装置		
	3	論理回路		
	4	補助記憶装置		
	5	小テスト		
	6	入出力装置		
	7	入出力制御方式／入出力インターフェース		
	8	情報処理システムの処理形態		
	9	高信頼化システムの構成		
	10	小テスト		
	11	情報処理システムの評価（処理能力の評価）		
	12	情報処理システムの評価（信頼性の評価）		
	13	ヒューマンインターフェース		
	14	マルチメディア		
	15	小テスト		
授業の進め方・履修の心構え	各回後半に基本情報技術者試験の過去問題を解きます。わからない点は質問したり調べたりして授業に遅れないようにしましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	Java II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単 位 数	7 単位
学 年	1年次		時 間 数	150 時間
開講学期	後 期		授業形態	演 習
履修区分	必 修		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	「Java I」の継続科目です。本科目はJavaの思想である「オブジェクト指向」に沿って、プログラミングスキルを磨いていきます。オブジェクト指向の三大要素、カプセル化・インヘリタンス・ポリモーフィズムを、プログラミングではどう記述し、実現していくのか、応用問題に取り組みながら学びます。引き続き試験対策も視野に入れていきます。検定合格が目標です。			
到達目標	Javaのオブジェクト指向を完全に理解し、プログラミングできる			
教科書・教材	スッキリわかるJava入門／(株)インプレス			
授業計画	回	内 容		
	1	オブジェクト指向についての復習／コンストラクタ		
	2	シュミレーションゲーム作成課題①		
	3	シュミレーションゲーム作成課題①・発表／継承とインターフェース		
	4	継承とインターフェース／抽象クラス		
	5	多態性、カプセル化		
	6	シュミレーションゲーム作成課題②		
	7	シュミレーションゲーム作成課題②・発表		
	8	Objectクラス・staticキーワード		
	9	APIについて～String、Date、List、Map		
	10	APIについて～例外、File		
	11	APIについて～GUI、Thread		
	12	単位認定オリジナル課題作成		
	13	単位認定オリジナル課題作成		
	14	単位認定オリジナル課題作成		
	15	単位認定オリジナル課題作成・発表		
授業の進め方・履修の心構え	教科書やスライドをもとに解説をし、適宜パソコンを使用して演習を行います。成果物については必要に応じて提出してもらいます。			
目標資格	Javaプログラミング能力認定試験2級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	－
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80％以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定オリジナル課題の評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	HTML演習 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	3 単位
学 年	1年次		時間数	60 時間
開講学期	後 期		授業形態	演 習
履修区分	必 修		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	Webページレイアウトの実践的な手法について学習します。Webデザインにおけるワークフローを理解するとともに、Webスタンダードを意識したHTMLとCSSを使った実践的なテクニックを総合的に学習します。 CSSについては、CSSの種類をすべて網羅することを目標に、その書き方と効果を学びます。さらには、CSSを使った実践的なテクニックを学んでいきます。			
到達目標	HTMLとCSSを完全に理解し、 1 からWebサイトを作成できる			
教科書・教材	1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座／SBクリエイティブ(株) 教科書範囲：152ページ～275ページ			
授業計画	回	内 容		
	1	Webレイアウトについて／FlexboxやGrid		
	2	Webレイアウトについて／フルスクリーンレイアウト・サンプル作成		
	3	Webレイアウトについて／フルスクリーンレイアウト・サンプル作成		
	4	Webレイアウトについて／2カラムレイアウト・サンプル作成		
	5	Webレイアウトについて／2カラムレイアウト・サンプル作成		
	6	Webレイアウトについて／レスポンシブ対応と3カラムレイアウト		
	7	Webレイアウトについて／タイル型レイアウト・サンプル作成		
	8	Webレイアウトについて／タイル型レイアウト・サンプル作成		
	9	外部メディアの利用／コンタクトフォーム・SNS・マップ		
	10	CSSについて／セレクタの種類や疑似クラスについて		
	11	単位認定課題／オリジナルページ作成①		
	12	単位認定課題／オリジナルページ作成②		
	13	単位認定課題／オリジナルページ作成③		
	14	単位認定課題／オリジナルページ作成④		
	15	単位認定課題／オリジナルページ提出・寸評		
授業の進め方・履修の心構え	教科書に沿ってCSSのレイアウトについて詳しく学びます。サンプルを作成しつつ形にするために必要なCSSを学んでいきます。様々なレイアウトのWebを作成できるようになるのが目標です。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 各オリジナル課題の評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	キャリア探求	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	4単位	
学 年	1年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	就職準備のための授業です。講座の中で自分の理想とする職業像をイメージし、就職活動に必須の準備を終了させます。自己分析・企業研究から始まる履歴書完成、エントリーシート準備、面接試験対策など具体的に作業していきます。机上の作業だけではなく、足・目・頭など体を十分に動かして準備していきましょう。			
到達目標	春休み前から就職活動を開始し、早期内定取得			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	就職活動の進め方／自分史の作成		
	2	働くことについて／自己分析・作文		
	3	自己分析・作文		
	4	自己分析・作文／業界・企業研究		
	5	業界・企業研究／給与・税金・保険・年金について		
	6	業界・企業研究／IT業界について		
	7	前年度生からの就活プレゼン／履歴書の作り方（経歴・資格欄）		
	8	前年度生からの就活プレゼン／面接試験について		
	9	前年度生からの就活プレゼン／就職活動計画		
	10	前年度生からの就活プレゼン／履歴書の作り方（自己PR）		
	11	履歴書の作り方（自己PR）／面接練習		
	12	履歴書の作り方（志望動機）／面接練習		
	13	履歴書の作り方（志望動機）／面接練習		
	14	履歴書の作り方（見本作成）／面接練習		
	15	履歴書の作り方（見本作成）／面接練習		
授業の進め方・履修の心構え	早期内定獲得に向け、言われてやるのではなく自主的な姿勢で臨みましょう。就職活動に必要な物は、本番がスタートする前に用意しておきましょう。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	－
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 模擬面接による評価 (3) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	国家試験対策Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	4単位
学 年	1年次		時間数	60時間
開講学期	後 期		授業形態	講 義
履修区分	選 択		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	1年次の前期に学習したコンピュータの基礎理論やネットワーク、セキュリティ等について再度理解を深めるとともに、国家試験の過去問を用いた問題演習および解説を通して、試験問題に慣れ、その解き方を身に付けていきます。			
到達目標	基本情報技術者試験及び修了認定試験合格レベル			
教科書・教材	基本情報技術者科目A問題集・科目B問題集／(株)インフォテック・サーブ 基本情報技術者模擬試験／TAC(株)			
授業計画	回	内 容		
	1	12月修了試験対策（ハードウェア）		
	2	12月修了試験対策（情報処理システム）		
	3	12月修了試験対策（データベース）		
	4	12月修了試験対策（ソフトウェア）		
	5	12月修了試験対策（ネットワーク）		
	6	12月修了試験対策（情報セキュリティ）		
	7	科目A模擬試験		
	8	12月修了試験対策（経営戦略・情報戦略／マネジメント）		
	9	12月修了試験対策（データ構造とアルゴリズム）		
	10	12月合格者：科目B対策／不合格者：1月修了試験対策		
	11	12月合格者：科目B対策／不合格者：1月修了試験対策		
	12	12月合格者：科目B対策／不合格者：1月修了試験対策		
	13	科目B対策（アルゴリズムとプログラミング）		
	14	科目B対策（アルゴリズムとプログラミング）		
15	科目B対策（情報セキュリティ）			
授業の進め方・履修の心構え	「基本午前対策」を履修したことが条件となります。今まで学習したことをしっかりと復習し、基礎を身に付けることが大切です。			
目標資格	基本情報技術者試験及び修了認定試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80％以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	グループワークⅠ	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科		単位数	3単位
学 年	1年次		時間数	60時間
開講学期	後 期		授業形態	演 習
履修区分	選 択		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	次年度、総合制作を間近に控えたクラスを対象に開講。システムや作品を作り上げるために学年を越えて意思交換、意見交換をスムーズに行うために簡単なグループワークを通して学ぶことを目的とします。			
到達目標	簡単なグループワークを通して他学年との交流深め、他者との意思交換できる力を身につける。 1. 他学年との交流を深める。 2. 他学年との意思交換、意見交換を行う。			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	ガイダンス、グループ制作の特性、意味		
	2	グループワーク（チーム毎に作業）		
	3	グループワーク（チーム毎に作業）		
	4	グループワーク（チーム毎に作業）、プレゼン発表		
	5	プレゼン発表、チーム作業の振り返り		
	6	グループワーク（チーム毎に作業）		
	7	グループワーク（チーム毎に作業）		
	8	グループワーク（チーム毎に作業）		
	9	グループワーク（チーム毎に作業）、プレゼン発表		
	10	プレゼン発表、チーム作業の振り返り		
	11	グループワーク（チーム毎に作業）		
	12	グループワーク（チーム毎に作業）		
	13	グループワーク（チーム毎に作業）		
	14	グループワーク（チーム毎に作業）、プレゼン発表		
	15	プレゼン発表、チーム作業の振り返り		
授業の進め方・履修の心構え	他学年との交流を行い、チームの在り方を学ぶ。最低限の礼儀を守りつつ年齢性別を越えて意思交換・意見交換をしてもらいたいです。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	（１）出席率80％以上および授業の積極性による評価 （２）課題の提出状況 （３）グループワーク、プレゼンによる評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	アルゴリズムⅡ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	2単位
学 年	1年次		時間数	30時間
開講学期	後 期		授業形態	講 義
履修区分	選 択		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	「アルゴリズムⅠ」から引き続き、資格試験でも問われることの多い代表的なアルゴリズム（問題を解決する手法や方法）を学び、システムの構築方法や考え方を学びます。扱う内容は基本情報技術者試験の出題範囲及びJavaプログラミング能力認定試験のスキル標準に則したものです。			
到達目標	基本情報技術者試験及びJavaプログラミング能力認定試験の出題内容が理解できる			
教科書・教材	ITワールド／(株)インフォテック・サーブ Javaプログラミング能力認定試験2級過去問題集／サーティファイ			
授業計画	回	内 容		
	1	フローチャート基本構造の復習		
	2	データ探索処理：線形探索法		
	3	データ探索処理：2分探索法		
	4	データ探索処理：ハッシュ探索法		
	5	データ整列処理：基本選択法		
	6	データ整列処理：基本交換法（バブルソート）		
	7	データ整列処理：基本挿入法（挿入ソート）		
	8	クイックソート		
	9	文字列処理		
	10	小まとめ		
	11	国家試験・検定試験問題演習		
	12	国家試験・検定試験問題演習		
	13	国家試験・検定試験問題演習		
	14	国家試験・検定試験問題演習		
	15	国家試験・検定試験問題演習		
授業の進め方・履修の心構え	「アルゴリズムⅠ」で学習したフローやアルゴリズムの基本的な考え方が理解できていることが前提となります。処理の流れがイメージできない場合は、実際にプログラムを組んで実行し、処理結果を確認して理解を深めましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験 Javaプログラミング能力認定試験2級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	－
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 検定試験の結果による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	システム戦略	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学 年	1年次	時間数	30時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	会社の経営や運営に係る情報分野のシステム戦略を学習します。基本情報技術者試験の科目Aで出題されるストラテジ系分野の問題を理解することです。扱う内容は基本情報技術者試験の出題範囲及びスキル標準に則したものです。			
到達目標	基本情報技術者試験 科目A合格レベル			
教科書・教材	IT戦略とマネジメント／(株)インフォテック・サーブ IT戦略とマネジメントサブノート／(株)インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	経営戦略マネジメント①		
	2	経営戦略マネジメント②		
	3	経営戦略マネジメント③／技術戦略マネジメント①		
	4	技術戦略マネジメント②		
	5	ビジネスインダストリ①		
	6	ビジネスインダストリ②		
	7	ビジネスインダストリ③		
	8	第2部の総まとめ【単元テスト・確認テスト】		
	9	情報システム戦略の概要①		
	10	情報システム戦略の概要②		
	11	情報システム企画①		
	12	情報システム企画②		
	13	第3部の総まとめ【単元テスト・確認テスト】		
	14	総まとめ【システム戦略 確認テスト】		
	15	総まとめ		
授業の進め方・履修の心構え	教科書をベースに学習し、過去の基本情報技術者試験科目A問題で出題された問題を解き学習した内容を復習していきます。わからない点はそのまま放置せず、積極的に質問したり調べたりしましょう。就職後の仕事や日常に関わる情報を踏まえて学習していきます			
目標資格	修了認定に係る試験(基本情報技術者試験 科目A免除) 基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 小テスト (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	CG基礎	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	1 単位	
学 年	1年次	時 間 数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	様々なシーンで利用できるグラフィックの知識を、Adobe Photoshop及びIllustratorを通して学びます。Photoshopでは写真素材のレタッチや複数画像の合成方法を中心に、Illustratorではロゴやイラスト、デザイン性に優れたグラフィックの作成方法などについて学びます。			
到達目標	・ 基本的なグラフィック技術の理解及び習得を目標とする ・ 自分で問題を解決する力(切り分けができるように)を身に着けること			
教科書・教材	デザインの学校これからはじめるIllustrator&Photoshopの本／(株)技術評論社			
授業計画	回	内 容		
	1	ガイダンス（授業の進め方・デザインとは・IllustratorとPhotoshopの違い）		
	2	Illustratorの基本操作		
	3	Photoshopの基本操作		
	4	IllustratorとPhotoshopのデータのやり取り		
	5	ロゴを作ろう（Illustrator／ロゴマークとは・マークに込める思い）		
	6	名刺を作ろう（Illustrator／名刺に入れるべき情報・何をアピールするのか）		
	7	写真をもっとカッコ良く（Photoshop／写真のとりかた・空間を切り取る）		
	8	ポストカードを作ろう（Photoshop／テーマに即した写真撮影・言葉を添える）		
	9	オリジナルポストカードの発表会（前半に作成した作品の発表評価）		
	10	カッコ良い写真合成（Photoshop／与えられた素材の合成・レイヤーの活用）		
	11	フライヤーを作ろう（Photoshop+Illustrator／フライヤーで何を伝えるのか）		
	12	ご近所マップを作る（Illustrator／シンプルな地図の作り方）		
	13	2Dグラフィック作品の制作		
	14	2Dグラフィック作品発表準備（作品のコンセプト・何を伝えるのか・スライド作成）		
15	作品発表会（作品の発表評価）			
授業の進め方・履修の心構え	講師による説明後、演習を行います。基礎技術定着の為に十分な復習を行うことを期待します。毎回授業中に課題を出し、メールで提出してもらいます。 ・ ベストチョイス（出題テーマについて思うこと） ・ ベストスナップ（自分で撮影した写真にタイトルをつけ提出） ・ ベストサウンド（心に残った音を報告）			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	（１）小テスト （２）課題の提出状況および完成度 （３）出席率80％以上および授業の積極性による評価 （４）提出メールの内容評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	PowerPoint演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	1 単位	
学 年	1年次	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	プレゼンテーション技能認定試験上級合格を目指すとともに、ツールを使っのプレゼンテーションを実践していきます。PowerPointは、企業、制作の現場では非常に頻繁に使用され、使いこなせることが一つの武器になります。PowerPointというソフトウェアを十分に理解し、ポイントを抑えた使い方を学習します。			
到達目標	プレゼンテーション技能認定試験上級に合格する。			
教科書・教材	2021対応PowerPointプレゼンテーション技能認定試験問題集／サーティファイ			
授業計画	回	内 容		
	1	PowerPointの概要／検定概要／テーマ別知識練習問題①		
	2	テーマ別知識練習問題②		
	3	実技練習問題 1 -①		
	4	実技練習問題 1 -②		
	5	実技練習問題 2 -①		
	6	実技練習問題 2 -②		
	7	実技練習問題 3 -①		
	8	実技練習問題 3 -②		
	9	模擬知識問題①		
	10	模擬問題①		
	11	模擬問題②		
	12	模擬知識問題②		
	13	模擬問題③		
	14	模擬問題④		
	15	模擬問題⑤		
授業の進め方・履修の心構え	演習問題を解きながらPowerPointを使いこなす応用力を養います。 進むスピードが速いため、欠席しないようにしてください。			
目標資格	PowerPointプレゼンテーション技能認定試験上級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	－
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80％以上および授業の積極性による評価 (3) 検定試験の結果による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	SQL演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	1単位
学 年	1年次		時間数	30時間
開講学期	後 期		授業形態	演 習
履修区分	選 択		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	SQL文を、実際のDB環境で実行確認し、さらに知識を増やします。基本的なSQL構文を身につけられるように練習していきます。 また、DBMSとして有名な「PostgreSQL」への理解を深め、ベンダ資格に挑戦できる知識を学習して行きます。			
到達目標	SQLの基本を理解し、問題文からSQLを作成できるようになることを目標とします。 また、データベースのベンダ資格であるOSS-DBの問題を解けるようになることです。			
教科書・教材	スッキリわかるSQL入門第4版／(株)インプレス			
授業計画	回	内 容		
	1	操作する行の絞り込み		
	2	操作する行の絞り込み		
	3	操作する行の絞り込みの練習問題		
	4	検索結果の加工（重複行の除外、並び替え）		
	5	検索結果の加工（重複行の除外、並び替え）の練習問題		
	6	集計とグループ化		
	7	集計とグループ化		
	8	集計とグループ化の練習問題		
	9	複数のテーブルの結合		
	10	複数のテーブルの結合		
	11	複数のテーブルの結合の練習問題		
	12	テーブルの設計		
	13	概念設計(ER図)		
	14	論理設計(正規化)		
	15	テーブル設計の練習問題		
授業の進め方・履修の心構え	教科書を使って進めていきますが、実際にSQL文を自ら操作して学習していきます。また、オリジナル問題を解いてもらいます。			
目標資格	基本情報技術者試験 OSS-DB Silver			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	実技試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	（１）課題の提出状況および完成度 （２）出席率80％以上および授業の積極性による評価 （３）単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2025年度	科目名	ゲーム開発基礎	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	1単位
学 年	1年次		時間数	30 時間
開講学期	後 期		授業形態	演 習
履修区分	選 択		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	本講座は、Unityエディターによるゲーム開発の基礎講座です。 授業を通して、ゲーム開発の基本概念を理解し、ゲームデザインの基礎を習得することが学習目標です。			
到達目標	1,Unityの基本操作を習得し、ゲームオブジェクトの配置、操作、設定ができる 2,Unityゲーム開発におけるC#言語の基本構文を理解する 3,物理エンジンを理解し、オブジェクトの動きや衝突をシミュレートできる 4,アニメーションとユーザーインタラクションの実装方法を習得する 5,ゲームデザインの基礎を学んで、プレイヤーエクスペリエンスを向上させることができる 6,テストとデバッグの方法を理解し、問題を発見して修正するスキルを磨く			
教科書・教材	Unityの教科書 Unity 2023完全対応版／SBクリエイティブ			
授業計画	回	内 容		
	1	イントロダクション：ゲーム制作について、Unityとは、環境構築		
	2	Unityの基本操作、Unity向けC#スクリプトの基礎①		
	3	Unity向けC#基礎②、テキスト：「占いルーレット」の作成、課題①提出		
	4	「寸止めゲーム」の作成①：素材配置、車を動かす		
	5	「寸止めゲーム」の作成②：UI、コンポーネント、効果音、日本語表示		
	6	課題②「寸止めゲーム」制作＆提出		
	7	「矢をよけるゲーム」の作成①：素材配置、キャラクター動作設定、prefab		
	8	「矢をよけるゲーム」の作成②：UI、スマートフォン対応（ボタンオブジェクト）		
	9	「矢をよけるゲーム」の作成②：UI、スマートフォン対応（ボタンオブジェクト）		
	10	課題③「矢をよけるゲーム」制作＆提出		
	11	「ネコがゴールにたどり着くゲーム」の作成①：Physics、コライダ		
	12	「ネコがゴールにたどり着くゲーム」の作成②：アニメーション、視点、衝突判定		
	13	「ネコがゴールにたどり着くゲーム」の作成③：シーン遷移、追加アニメーション		
	14	「ネコがゴールにたどり着くゲーム」の改造：課題出題＆制作		
15	課題④「ネコがゴールにたどり着くゲーム」制作＆提出			
授業の進め方・履修の心構え	テキスト並びにそれに準じた課題制作を通じて、ゲーム開発に必要な基本スキルを身に付けます。 ・積極的に授業に参加し、知識を吸収する意欲を持ちましょう ・集中して授業内容を理解し、質問や議論に積極的に参加しましょう ・新しい概念や知識に対して柔軟な考え方をもち、理解に時間がかかっても忍耐強く取り組みましょう			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	－
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	（１）課題の提出状況および完成度 （２）出席率80％以上および授業の積極性による評価 （３）小テストの平均点による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	基本情報技術者受験対策講座Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学 年	全学年共通	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本科目は、情報処理推進機構基本情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。科目A試験及び、科目B試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	科目A試験問題の内容理解と練習（ハードウェア）		
	2	科目A試験問題の内容理解と練習（情報処理システム）		
	3	科目A試験問題の内容理解と練習（ソフトウェア）		
	4	科目A試験問題の内容理解と練習（データベース）		
	5	科目A試験問題の内容理解と練習（ネットワーク）		
	6	科目A試験問題の内容理解と練習（情報セキュリティ）		
	7	科目A試験問題の内容理解と練習（経営戦略・情報戦略）		
	8	科目A試験問題の内容理解と練習（データ構造とアルゴリズム）		
	9	科目B試験問題の内容理解と練習（情報セキュリティ）		
	10	科目B試験問題の内容理解と練習（情報セキュリティ）		
	11	科目B試験問題の内容理解と練習（アルゴリズムとプログラミング）		
	12	科目B試験問題の内容理解と練習（アルゴリズムとプログラミング）		
	13	科目B試験問題の内容理解と練習（アルゴリズムとプログラミング）		
	14	科目B試験問題の内容理解と練習（アルゴリズムとプログラミング）		
	15	総まとめ		
授業の進め方・履修の心構え	科目A試験免除保持者は科目B試験問題を、未保持者は科目A試験・科目B試験両方に取り組みます。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	（１）授業中に実施する確認テスト （２）出席率80％以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	応用情報技術者受験対策講座Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学 年	全学年共通	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本科目は、情報処理推進機構応用情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。			
到達目標	応用情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習（基礎理論）		
	2	午前問題の内容理解と練習（コンピュータシステム）		
	3	午前問題の内容理解と練習（技術要素・開発技術）		
	4	午前問題の内容理解と練習（マネジメント）		
	5	午前問題の内容理解と練習（システム戦略・経営戦略）		
	6	午前問題の内容理解と練習（企業と法務）		
	7	午後問題の内容理解と練習（情報セキュリティ）		
	8	午後問題の内容理解と練習（経営戦略・情報戦略・コンサルティング）		
	9	午後問題の内容理解と練習（プログラミング・アルゴリズム）		
	10	午後問題の内容理解と練習（ネットワーク）		
	11	午後問題の内容理解と練習（データベース）		
	12	午後問題の内容理解と練習（システム開発）		
	13	午後問題の内容理解と練習（マネジメント）		
	14	午後問題の内容理解と練習（システム監査）		
	15	総まとめ		
授業の進め方・履修の心構え	出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	応用情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	（１）授業中に実施する確認テスト （２）出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	基本情報技術者受験対策講座Ⅱ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学 年	全学年共通	時間数	30時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本科目は、情報処理推進機構基本情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。科目A試験及び、科目B試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	科目A試験問題の内容理解と練習（ハードウェア）		
	2	科目A試験問題の内容理解と練習（情報処理システム）		
	3	科目A試験問題の内容理解と練習（ソフトウェア）		
	4	科目A試験問題の内容理解と練習（データベース）		
	5	科目A試験問題の内容理解と練習（ネットワーク）		
	6	科目A試験問題の内容理解と練習（情報セキュリティ）		
	7	科目A試験問題の内容理解と練習（経営戦略・情報戦略）		
	8	科目A試験問題の内容理解と練習（データ構造とアルゴリズム）		
	9	科目B試験問題の内容理解と練習（情報セキュリティ）		
	10	科目B試験問題の内容理解と練習（情報セキュリティ）		
	11	科目B試験問題の内容理解と練習（アルゴリズムとプログラミング）		
	12	科目B試験問題の内容理解と練習（アルゴリズムとプログラミング）		
	13	科目B試験問題の内容理解と練習（アルゴリズムとプログラミング）		
	14	科目B試験問題の内容理解と練習（アルゴリズムとプログラミング）		
	15	総まとめ		
授業の進め方・履修の心構え	科目A試験免除保持者は科目B試験問題を、未保持者は科目A試験・科目B試験両方に取り組みます。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	（１）授業中に実施する確認テスト （２）出席率80％以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	応用情報技術者受験対策講座Ⅱ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学 年	全学年共通	時間数	30時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本科目は、情報処理推進機構応用情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。			
到達目標	応用情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習（基礎理論）		
	2	午前問題の内容理解と練習（コンピュータシステム）		
	3	午前問題の内容理解と練習（技術要素・開発技術）		
	4	午前問題の内容理解と練習（マネジメント）		
	5	午前問題の内容理解と練習（システム戦略・経営戦略）		
	6	午前問題の内容理解と練習（企業と法務）		
	7	午後問題の内容理解と練習（情報セキュリティ）		
	8	午後問題の内容理解と練習（経営戦略・情報戦略・コンサルティング）		
	9	午後問題の内容理解と練習（プログラミング・アルゴリズム）		
	10	午後問題の内容理解と練習（ネットワーク）		
	11	午後問題の内容理解と練習（データベース）		
	12	午後問題の内容理解と練習（システム開発）		
	13	午後問題の内容理解と練習（マネジメント）		
	14	午後問題の内容理解と練習（システム監査）		
	15	総まとめ		
授業の進め方・履修の心構え	出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	応用情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	（１）授業中に実施する確認テスト （２）出席率80％以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	Javaプログラミング受験対策講座	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学 年	全学年共通	時間数	30時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本科目は、サーティファイ主催Javaプログラミング能力認定試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。各級位の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。			
到達目標	Javaプログラミング能力認定試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習（式と演算子）		
	2	問題の内容理解と練習（条件分岐）		
	3	問題の内容理解と練習（繰り返し）		
	4	問題の内容理解と練習（配列）		
	5	問題の内容理解と練習（メソッド）		
	6	問題の内容理解と練習（クラスとインスタンス）		
	7	問題の内容理解と練習（継承）		
	8	問題の内容理解と練習（インターフェース）		
	9	問題の内容理解と練習（多様性）		
	10	問題の内容理解と練習（カプセル化）		
	11	問題の内容理解と練習（クラスライブラリ）		
	12	問題の内容理解と練習（例外）		
	13	問題の内容理解と練習（スレッド）		
	14	問題の内容理解と練習（GUI）		
	15	総まとめ		
授業の進め方・履修の心構え	出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。分からない問題は自分で実際にプログラミングし、実行結果を確認して理解を深めましょう。			
目標資格	Javaプログラミング能力認定試験1～3級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	（１）授業中に実施する確認テスト （２）出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画（シラバス）

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	MCP受験対策講座	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本科目は、マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）の合格を目的とし、出題範囲や問題の内容理解を深め、講義を通して対策を行います。グレードごとに分かれた試験の問題難易度や出題傾向を理解し、講義形式で試験対策を行います。			
到達目標	マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習（モビリティ）		
	2	問題の内容理解と練習（モビリティ）		
	3	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	4	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	5	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	6	問題の内容理解と練習（データ）		
	7	問題の内容理解と練習（データ）		
	8	問題の内容理解と練習（データ）		
	9	問題の内容理解と練習（データ）		
	10	問題の内容理解と練習（生産性）		
	11	問題の内容理解と練習（App Builder）		
	12	問題の内容理解と練習（App Builder）		
	13	問題の内容理解と練習（ビジネスアプリケーション）		
	14	問題の内容理解と練習（ビジネスアプリケーション）		
	15	総まとめ		
授業の進め方・履修の心構え	出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	－
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	（１）授業中に実施する確認テスト （２）出席率80％以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2025年度	科目名	MOS受験対策講座	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学 年	全学年共通	時間数	30時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本科目は、マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS：Microsoft Office Specialist）の合格を目的とし、出題範囲や問題の内容理解を深め、講義を通して対策を行います。各オフィスソフトでグレードごとに分かれた試験の問題難易度や出題傾向を理解し、講義形式で試験対策を行います。			
到達目標	マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS：Microsoft Office Specialist）合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習（Word）		
	2	問題の内容理解と練習（Word）		
	3	問題の内容理解と練習（Word）		
	4	問題の内容理解と練習（Word）		
	5	問題の内容理解と練習（Excel）		
	6	問題の内容理解と練習（Excel）		
	7	問題の内容理解と練習（Excel）		
	8	問題の内容理解と練習（Excel）		
	9	問題の内容理解と練習（PowerPoint）		
	10	問題の内容理解と練習（PowerPoint）		
	11	問題の内容理解と練習（PowerPoint）		
	12	問題の内容理解と練習（Access）		
	13	問題の内容理解と練習（Access）		
	14	問題の内容理解と練習（Access）		
	15	問題の内容理解と練習（Access）		
授業の進め方・履修の心構え	出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS：Microsoft Office Specialist）			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	（１）授業中に実施する確認テスト （２）出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	